

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

奈良市立鼓阪小学校（奈良県）【指定校】

### 【取組内容】 情報の収集と整理

#### 【情報活用能力の育成】

学びを進めていくうえで、どこから・どのような情報を収集できるかが大切になっている。

児童の身近な情報源である教科書からも多くの大切な情報を収集できる。教員が学びの見通しを示す中で、児童が自ら必要なだけ情報を収集し、必要な形に加工するなどできる力を育成したい。

各学年の実態に応じて、教科書、資料集、書籍、web検索等様々な方法を使えるように指導を継続していく。その際に、ファクトチェックの視点も低学年から継続して意識させ、得た情報の公正性や信頼性についての視点を6年間を通して指導していく。



#### 【児童と教員の様子】

フィルターバブル現象などが問題視される中、情報収集する際に集めた情報の公正性や信頼性に着眼することで、自分の意見の根拠や友達の意見の根拠などに視点が行くようになってきている。